

### ふるさとの話題で親睦を深める

#### 第21回東京鷹巣会総会

第21回東京鷹巣会(菊地靖孝会長)総会・懇親会が11月16日、東京のホテルグランドパレスで開催され、会員や関係者など約120名が参加し、郷里の話題などで旧交を温めました。

総会で、菊地会長は「21回目の鷹巣会を新たなスタートとし、会の維持発展・創造拡大させるためまい進する」などとあいさつし、今後の会のあり方について決意を述べました。

菊地会長や佐藤副市長、来賓らの鏡割りで始まった懇親会の各テーブルでは、お互いの近況やふるさとの話題で話はずみ親睦を深めました。

最後には、全員で万歳三唱をして、来年の再会を誓い合いました。



▲威勢よく鏡割りを行い、会の維持発展・創造拡大を誓った東京鷹巣会

### 農作業や自然体験で大きく成長

#### まとび学園収穫祭

山村留学「まとび学園」第16期生の収穫祭が11月16日、学童研修センター(三木田)で保護者や受け入れ先の方々も参加し行われ、体験発表や太鼓の演奏などが披露されました。

園生4人は、親元を離れ生活してきた体験をそれぞれ「スイカ作り体験(安井和哉さん・小4)」、「秋田弁について(仲宗根瑠美さん・小6)」、「私の研究(ジャガイモから「デンプン」)(野崎あかり・中1)」、「ほくのサトイモづくり」(菊地瞭太さん・小4)と題し体験発表しました。

そのあと、「心の収穫」と題し北秋田市での生活で得たことを朗読すると、参加された皆さんは、この半年間の子どものたくましい成長ぶりに心から喜んでいました。



▲自ら作成した資料をもとに、スイカ作り体験を堂々発表する安井さん

### 全国社会教育委員連合会長表彰を受賞

#### 市社会教育委員長の木村常蔵さん

長年にわたる社会教育委員としての功績が評価され、全国社会教育委員連合会長表彰を受けた北秋田市社会教育委員長の木村常蔵さん(74歳・坊沢)が11月14日、市役所を訪れ、岸部市長に受賞を報告しました。

木村さんは「平和で豊かな地域社会を作るには住民の学習が大切。これからも、市民誰もが生きがいを持ち、地域に愛着を持って暮らせるよう活動に取り組みたい」などと抱負を述べました。

岸部市長は、「これからも経験を活かし、市民の学習活動への助言・指導や地域の発展に貢献してほしい」と受賞を称え、ともに今後の活動に期待を寄せていました。



▲全国社会教育連合会長表彰の受賞を岸部市長に報告する木村さん

### 17団体の発表楽しむ

#### 第29回婦人芸能祭

北秋田市鷹巣婦人団体連絡協議会(中嶋喜代会長)が主催する第29回婦人芸能祭が11月16日、市文化会館で開催され、満場の観衆が踊りや歌、寸劇などの多彩なステージを楽しみました。

同協議会は、昭和55年に旧鷹巣町の各地区婦人会などの女性グループらで発足、現在は22団体で構成されています。これまで婦人芸能祭ほか、「ふるさと踊りと餅つきまつり」の開催など活発な地域づくり活動を行ってきました。

この日は、立ち見が出るほどの盛況ぶり。17団体が、22演目を発表しました。訪れた人たちは、次々と繰り出される各団体の熱演に大きな拍手を送っていました。



▲17団体が22の演目を午前・午後とそれぞれ発表し、満場の観衆を喜ばせました

### 全国防犯功労栄誉銀賞を受賞

#### 防犯活動が認められ城口健治さん

地域での防犯活動により全国防犯功労栄誉銀賞を受賞した城口健治さん(79歳・坊沢)が11月10日、市役所を訪れ受賞を報告しました。

城口さんは、現在も市防犯協会坊沢支部の理事として会員の先頭に立ち、防犯予防活動の推進と地域住民の安全で安心な暮らしを守ることに努められています。「受賞は、支部をはじめ地域の皆さんの協力があつてこそ。これからも賞に恥じないよう、防犯活動に取り組みたい」と抱負を述べていました。

報告を受けた畠山勇悦総務部長は、「受賞は後継者に大きな励みになる。地域の安全・安心のためにこれからもがんばってほしい」と受賞を称え、激励しました。



▲畠山総務部長に防犯栄誉銀賞の受賞を報告する城口健治さん(左側)

### 生前の功績が称えられる

#### 故小野昭治氏が正七位に叙せられる

元鷹巣阿仁広域消防本部消防次長の故小野昭治氏(大町)が正七位に叙せられ、11月11日、市役所において、藤田了次北秋田地域振興局長からご子息の小野清治さんに位記が伝達されました。

小野氏は、昭和19年に鷹巣町警防団常備消防部に助手として勤務して以来、広域消防本部の消防次長として退職されるまでの43年間消防業務に従事されました。永年にわたって消防施設の強化や消防団の指導などに熱心に取り組み、その貢献と実績が認められたものです。

位記の伝達にあたり、藤田局長は、氏の功績を称えながらご子息清治さんに弔慰と氏の生前の貢献に対する感謝を述べました。



▲故小野昭治氏に対する位記の伝達を、藤田局長から受けるご子息の清治さん